



連絡先

外来TEL:0853-20-2381
病棟TEL:0853-20-2493
医局TEL:0853-20-2190 医局FAX:0853-20-2187

専門分野:クローン病、潰瘍性大腸炎の診療
好酸球性消化管疾患
資格:総合内科専門医・指導医、消化器病専門医・指導医
消化器内視鏡専門医・指導医、胃腸科専門医・指導医
ピロリ菌感染症認定医

HPアドレス: <https://www.shimane-u-internal2.jp/>

スタッフ



副診療科長・外来医長
石村 典久 診療准教授

専門分野:逆流性食道炎
好酸球性食道炎、バレット食道
資格:総合内科専門医・指導医
消化器病専門医・指導医
消化器内視鏡専門医・指導医
胃腸科専門医・指導医



川島 耕作 講師

専門分野:クローン病、潰瘍性大腸炎の診療
胃癌に関連した処置、小腸内視鏡検査
資格:総合内科専門医・指導医
消化器病専門医・指導医
消化器内視鏡専門医・指導医
胃腸科専門医・指導医
がん治療認定医



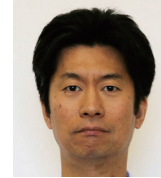
柴垣 広太郎 (光学医療診療部准教授)

専門分野:
消化管腫瘍の診断と内視鏡的切除
資格:総合内科専門医
消化器病専門医
消化器内視鏡専門医・指導医
がん治療認定医



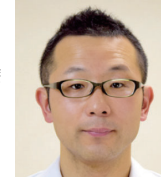
大嶋 直樹 (光学医療診療部助教)

専門分野:クローン病、潰瘍性大腸炎の診療
資格:総合内科専門医・指導医
消化器病専門医・指導医
消化器内視鏡専門医・指導医
胃腸科専門医・指導医



三代 剛 助教

専門分野:機能性胃腸症の診療
資格:総合内科専門医
消化器病専門医
消化器内視鏡専門医
ピロリ菌感染症認定医

病棟医長
三島 義之 助教

専門分野:クローン病、潰瘍性大腸炎の診療
資格:認定内科医・指導医
消化器病専門医
消化器内視鏡専門医
胃腸科認定医



玉川 祐司 助教

専門分野:逆流性食道炎、バレット食道過
性腸症候群、小腸カプセル内視鏡、便通異常
資格:認定内科医・指導医
消化器病専門医・指導医
消化器内視鏡専門医・指導医
胃腸科専門医・指導医
カプセル内視鏡専門医・指導医
日本肝臓専門医、がん治療認定医



沖本 英子 助教

専門分野:消化管、胆、膵
資格:認定内科医



岡 明彦 医科医員

専門分野:消化管、胆、膵
資格:総合内科専門医
消化器病専門医
消化器内視鏡専門医・指導医
カプセル内視鏡認定医肝臓専門医
超音波専門医



園山 浩紀 医科医員

専門分野:
消化管、胆、膵



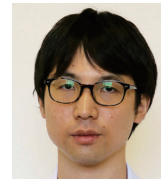
古谷 聡史 医科医員

専門分野:
消化管、胆、膵
資格:認定内科医
消化器病専門医
消化器内視鏡専門医



福永 真衣 医科医員

専門分野:
消化管、胆、膵
資格:認定内科医



岸本 健一 医科医員

専門分野:
消化管、胆、膵



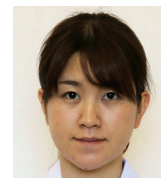
野々村 早弥 医科医員

専門分野:
消化管、胆、膵



田部 諒 医科医員

専門分野:
消化管、胆、膵



戒谷 悠里 医科医員

専門分野:
消化管、胆、膵

診療内容

消化管や膵臓、胆嚢に発症するあらゆる器質的疾患、機能性疾患の診療に対応しております。消化器疾患であると診断可能な方だけではなく、食欲がない、胸焼けがする、胃もたれがする、やせる、慢性的に下痢や便秘が持続する、腹の調子が悪い、というような腹部症状でお困りの患者さんで一般的な治療に反応しにくい患者さんの原因精査や治療計画の相談にも対応いたします。

消化器臓器におこる全てのがんの治療を内視鏡を用いて低侵襲で行っています。がんの薬物治療や放射線治療にも対応いたします。免疫の異常やアレルギーで起こる消化器疾患、機能性消化器疾患の診療では日本国内はもちろん、世界でトップクラスの実績を有しています。他の大学や病院にはない診療用の高度機器もたくさん有しております。

診療体制

1. がんの診療では高性能の内視鏡を用いた超早期診断とがんの内視鏡切除を中心とした低侵襲治療を行っています。がんの早期診断と早期低侵襲治療を確実にを行うことを目標としています。進行がんで内視鏡治療ができなくても先端がん治療センターや放射線治療科と協力して最良の治療を提供しています。
2. クロウン病や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患の患者さんに日本最高レベルの診療を行っており、県内外から中等症～重症例、難治例の患者さんを受け入れています（IBDセンター）。また、便秘や下痢で困っている患者さんの原因を調べて最適な治療を提案する「便通異常外来」も行っていますので、受診を希望される患者さんがおられましたら、地域医療連携センターを介して受診予約していただきますと幸いです。
3. 最近、患者さんの数が著しく増加しているアレルギー疾患の一つに含まれる好酸球性消化管疾患（好酸球性食道炎、好酸球性胃腸炎）の診療を行う拠点病院です。厚生労働省の難病研究グループの中心病院として京都大学ゲノム医学センターや国立成育医療センターと協力し、アレルギーで生じる消化管疾患の研究と診療の中心的役割を担っています。診療で困られる患者さんがおられましたらご紹介ください。
4. 内視鏡検査やCT検査など行っても、はっきりとした異常が見つからないのに、胸やけや腹痛、下痢、便秘、腹満などで困ることが多い機能性消化管疾患の診療を積極的に行っております。消化管の運動機能や水素・メタン呼気試験を用いた腸内細菌の異常増殖の評価などの検査が可能です。

診療実績

1. 内視鏡治療件数の推移（過去5年間）

		2015	2016	2017	2018	2019
上部消化管 (ESD,EMR)	咽喉頭	0	3	4	14	5
	食道	38	40	54	34	45
	胃	86	96	123	102	94
	十二指腸	17	10	14	9	15
下部消化管 (ESD)	大腸	28	40	26	29	41
下部消化管 (EMR,Px)	大腸	460	459	478	452	488
ERCP	胆・膵	369	341	366	359	509

ESD: Endoscopic Submucosal Dissection(内視鏡的粘膜下層剥離術)

EMR: Endoscopic Mucosal Resection(内視鏡的粘膜切除術)

Px: Polypectomy(ポリープ切除術)

ERCP: Endoscopic retrograde cholangiopancreatography (内視鏡的逆行性胆管膵管造影)